

自尊感情を高める!

校長 折田 卓己

失敗するなど気持ちが落ち込んだ時に、心の奥底で支えてくれるのが「自尊感情」です。

この自尊感情を育むには、人との関わりがとても大切です。仲間と協力して、試行錯誤しながら学校行事を成功させたり、地域の行事に参加して、「へえ～、そんな考え方もあるんだ!」と多様な価値観に触れたりする中で、子供は、他者との様々な感情を共有することができます。そして、そのような経験を積み重ねることで、ありのままの自分を認める感情が生まれ自己を受け入れていくことにつながります。親子で一緒に遊んだり、食事を作ったりするなどの活動を通して、泣いたり笑ったりする感情を共有することで、「自分は愛されている」という安心感が少しずつ積み重ねられ、自尊感情は育まれていきます。

～県教育庁人権同和教育課資料より～

「自尊感情」＝ 自己に対して肯定的な評価を抱いている状態

「自己有用感」＝ 誰かの役に立っている、貢献している等、自分が有用であると思える感情

少子化や情報化などの急速な進展により、子供たちを取り巻く世界では、友達との遊びや大人との触れ合いなどにおいて希薄化が進みつつある。それが、生徒指導上の問題へとつながっていくことも否定できない。こんなとき重要なのが「自尊感情」や「自己有用感」を高めていくことである。

以下は、今年度の6年生を対象とした調査結果である。

質問事項	当てはまると回答した割合(%)		
	本校	県	全国
今、住んでいる地域の行事に参加していますか。	70	29	24
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	60	32	33
将来の夢や目標をもっていますか。	90	66	60
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがありますか。	80	49	49

今、学校・家庭・地域が一体となって子供たちの「自己肯定感」「自己有用感」を高めていくことが喫緊の課題となっている。本校区ではそのつながりの深さから子供たちの「自己肯定感」や「自己有用感」が高く、今後もこれを継続させていくことが肝要である。最後にこの調査結果は現6年生の結果であり他学年との差異があることを付加しておく。今後、全学年で高い数値を目指せるよう尽力していきたい。

第58回天城町小学校陸上記録会

10月12日(木)天城町総合運動公園陸上競技場において「第58回天城町小学校陸上記録会」が実施されました。天城町内の小学5・6年生全員が集い、熱戦が繰り広げられました。

本校の結果は次のとおりとなりました。(3位以内の入賞者)

- 【5年女子100m走】
3位 安尾 虹夏(15秒1)
- 【5年男子100m走】
3位 稲田 建太郎(15秒4)
- 【6年女子100m走】
1位 田井 楓凜(15秒3)
3位 基 朝陽(15秒5)
- 【5年女子800m走】
3位 三代 るるか(3分15秒0)
- 【5年男子800m走】
2位 稲田 建太郎(2分52秒3)
- 【6年女子800m走】
1位 田井 楓凜(3分04秒8)
2位 松林 咲奈(3分08秒4)
- 【6年男子800m走】
1位 作山 伊吹(2分56秒4)
- 【6年女子60mハードル】
2位 松村 舞(13秒2)
- 【6年男子60mハードル】
2位 伊藤 一輝(12秒0)
- 【5年女子走り高跳び】
2位 亀山 琉菜(105cm)
2位 三島 絢音(105cm)
- 【5年男子走り高跳び】
3位 伊藤 武輝(100cm)
- 【6年女子走り高跳び】
1位 松村 舞(105cm)
3位 基 朝陽(100cm)
- 【6年女子走り幅跳び】
3位 宮田 あもん(324cm)
- 【5年女子400mリレー】
2位 安尾, 三代, 時國, 北郷(1分05秒8)
- 【5年男子400mリレー】
2位 稲田, 伊藤, 島田, 神田(1分08秒2)
- 【6年女子400mリレー】
1位 基, 田井, 松林, 宮田(1分04秒5)
- 【6年男子400mリレー】
3位 作山, 伊藤, 雪山, 先田(1分04秒2)



正門が復活しました

4月当初から正門の開閉がしづらい状況であったため、ネットで対応していました。先日、ようやく修繕していただきました。これまで、ネットでの開閉に御協力いただき、ありがとうございました。



< 11・12月の主な行事予定 >

★毎月「1」のつく日は【語先後礼あいさつ運動】★

【11月】

- 1日(水)～7日(火)は
地域が育む「かごしまの教育」県民週間
- 1日(水) 薬物乱用防止教室(3～6年)
- 7日(火) 第2回学校評議員会
- 8日(水) 避難訓練(地震・津波・火災)
- 10日(金) 移動図書
- 11日(土) 土曜授業「学習発表会」
- 14日(火) 全学年4時間授業(天城中学校公開研究会のため)
※子供たちは、給食後下校。
- 19日(日) 思いやり・クリーン作戦の日
- 30日(木) ジョイントスクール(中学校体験:6年)

【12月】

- 4日(月)～9日(土) 校内人権週間
- 5日(火) 校内持久走大会, 学級PTA
- 6日(水) 持久走大会予備日(学級PTAは必ず5日に実施)
- 7日(木) SOSの出し方・受け止め方教室
- 8日(金) 人権集会「ひまわりフェスティバル」, 移動図書
- 9日(土) 土曜授業, もちつき準備
- 10日(日) もちつき(中部地区推進協議会, 家庭教育学級)
- 17日(日) 思いやり・クリーン作戦
- 22日(金) 終業式
- 28日(木) 門松作り(PTA事業部)

★金管バンドより「お知らせとお願い」★

演奏依頼については、2週間前までに必ず学校へ連絡してください。(天城小学校:85-2052)

なお、早めの出演依頼の場合でも、学校行事等の関係でお断りする場合がありますので予め御了承ください。

11月の生活目標 → 『めあてを決めて学習にはげもう』

11月の保健目標 → 『歯を大切にしよう』

※ 裏面も御覧ください。

11月1日(水)～11月7日(火) 地域が育む「かごしまの教育」県民週間 ～ ぜひ、天城小学校へお越しください ～

11月1日(水)から7日(火)までの一週間は、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間」です。この期間は、学校自由参観ができます。保護者の皆様、地域の皆様に学校の様子をぜひ御参観いただきたいと思ひます。

期 間： 令和5年11月1日(水)～11月7日(火)

時 間： 午前9時00分～午後4時00分

場 所： 天城小学校 校内

その他： 正面玄関の受付において、御記名をお願いします。また、アンケートを準備しておりますので御協力よろしくをお願いします。



☆ 「学習発表会」開催のお知らせ ☆

日 時： 令和5年11月11日(土)

午前8時50分～午前11時00分

※ 午前8時25分から入場できます。

場 所： 天城小学校 体育館

※ 校舎内では子供たちの作品も展示しております。ぜひ御覧ください。

その他 1 準備物

(1) 体育館内で履く室内履き

(2) 履いてきた靴を入れる袋

※ 校舎内はスリッパを準備しております。

2 駐車場

校庭及び天城町役場駐車場

※ 校庭に駐車する際は、ショップかんだ側から左折で入り、お帰りの際は正門を左折してくらしげ商事側へお進みください。

3 参観場所

体育館1階フロア

※ 2階フロアは撮影者のみ入場可能です。子供の入場は事故防止のためにお控えください。

4 感染症対策

個人の判断といたします。

10月は「校内読書月間」

10月は校内読書月間でした。子供たちがたくさんの本に親しめるよう、様々な取組を行いました。

◎ 読書標語の作成 → 図書室に掲示しています。

◎ 読書郵便 → 校内はがきを使って、友達におすすめの本を紹介しました。郵便屋さんには図書委員会の5・6年生でした。

◎ 学級活動 → 本の大切さなどを学びました。

◎ 先生たちのおすすめの本紹介 → 校内には「“先生たちのおすすめの本”紹介”コーナーを設置しています。

◎ 児童集会 → 図書委員会が読書の呼びかけを行いました。

★ 「職員による“出張読み聞かせ”」★

担任以外の職員が、二週にわたって“出張読み聞かせ”を行いました。いつもとはちょっと違う雰囲気、子供たちも興味津々で読み聞かせを聴いていました。



別の学級の担任、音楽専科、理科専科、教頭も出張読み聞かせに行きました。そして次の全校朝会では、校長の読み聞かせも計画されています。

< 読書標語 >

本をひらくと
自分だけの
ゆめの世界
三年 栄 瑠菜

図書室で
いっぱい本を読んで
本はかせ
二年 高田 琴音華

みて、みて。
バムとケロが
おもしろい
一年 安楽 真聖

あなたの
好きな本たち
置いてます
六年 作山 伊吹

夢の世界
不思議な国の
「図書室」だ
五年 亀山 琉菜

本読んで
あふれる感動
見つけよう
四年 牧 龍英

天小フライド

～子供たちの日記から～

日曜日、町民体育祭がありました。町民体育祭はAとBのグループに分かれて、BはBの中で、AはAの中できそい合います。そして、BよりもAの方が、実力が高いチームが集まっています。私たち平土野は、去年Bになりました。そのこともあって、みんなですごくがんばりました。結果、なんとBの1位で、来年はAで戦うことができるようになりました。みんなで力を合わせるのすごいなと思いました。

6年 田井 楓凜

性的マイノリティ当事者による 児童向け講演会

9月27日(水)4校時、天城小学校で「性的マイノリティ当事者による児童向け講演会」が開催されました。これは、天城町男女共同参画推進事業の一環でもあります。今回の対象児童は5・6年生でした。

講師は徳之島町在住でセクシャルマイノリティカップルのユニット『サタマーシュ』のチアキさんとすーさんです。(関西から移住して1年だそうです。)



まず、「性的マイノリティ」とは何かについて詳しく教えていただきました。「LGBTQ」や「性的指向」「性自認」についても子供たちに分かりやすく教えてください、「人と違うことは、間違ではない。」ということに気付いた様子でした。

次に、自分事として捉えるように「もし、友達に“実はゲイ(またはレズビアン)なんだ”と打ち明けられたとき、あなたはどんな言葉をかけますか。」という問題について考えました。



「『ちがいは』は『まちがいは』ではない」という考え方をこれからも大切にする事で、一人一人の人権が尊重され、誰もが安心して過ごせる社会になるということ学びました。今後の生活の中でも生かしてほしいと思ひます。